



第3学期が始まりました！



今年度から始まった「新たな3学期制」を生かし、子どもたちは残りの3か月をどう過ごしていくか、それぞれのクラスで話し合ったり、目標を立てたりしました。

学年の総まとめとして、学ぶべきことをしっかりと身に付けて新学年を迎えさせたいと思います。今年も、どうぞよろしくお願ひいたします。



「苦手なことは、経験値の数が大事」

近頃のマイブームは、スマホのアプリでラジオの聞き逃し配信を聞くことです。

そのなかで、人工知能研究者の黒川伊保子さんのラジオ番組を聞く機会がありました。

黒川さんの著書には、「息子のトリセツ」「思春期のトリセツ」「定年夫婦のトリセツ」などがあり、脳科学の視点からみた家族のかかわりをよくお書きになっています。

ラジオでは、お孫さんの宿題を見ているおばあ様からのご相談でした。「孫が書く漢字がパーツごとにバラバラで、文字の形がまとまっていないのが心配」という内容です。

本校でもよくある相談内容だったので、どんな回答だろうと聞き入りました。

黒川さんのお話によれば、「脳には、人によって、それぞれに個性があるんですよ。それぞれの脳に、得意なところ、不得意なところがあって、人の脳にはすごく偏りがあるんです。」とのことでした。

実際に黒川さんの息子さんは、2次元をつかむのが苦手だったけれど、3次元は得意で、物理学を学び、今は会社に入り設計の仕事をしているという話をされていました。

「形を捉えにくいのであれば、ブロック遊びやお料理など、パーツが一つに統合していく遊びや、形を1つにするという経験を増やすといいですよ。脳には、それぞれに苦手なところがあるのだけれど、苦手なところは経験の数が大事だから、遊びや活動のなかで経験させてください。」と助言されていました。

ダンスも始めたばかりはぎくしゃくするかもしれないけれど、何度かやっているうちに滑らかに動けるようになっていくのと同じなのだそうです。

学校の活動は多岐にわたりますが、幼児期の遊びや日々の生活で培われた経験が様々な活動に生かされています。

本校では、プレイルームでの個別支援で、指先を使う遊びや自己表出する活動などに取り組んでいます。遊びを通して、苦手な活動に対応する力を育みたいと考えての取組です。（ちなみに、個別支援は、保護者同意の上で実施しています。）

まどろっこしくても、うまくできなくても、経験の数が手助けになると考えて、ご家庭では、親子での遊びやお手伝いなどに取り組ませてください。

輝く春日っ子

○佐世保市教育会 子ども俳句大会

- ・銅賞 5年児童
- ・銅賞 4年児童
- ・佳作 5年児童

○尚朴書道会 競書大会

- ・特選、佐世保市長賞 4年児童
- ・準特選 2年児童

○第14回下村脩ジュニア科学省 SASEBO 奨励賞

- ・高学年の部 5年児童
- ・高学年の部 4年児童
- ・低学年の部 3年児童
- ・低学年の部 2年児童

○令和4年度明るい選挙啓発書写

- ・入選 5年児童

○第71回小柳賞佐世保シティロードレース大会 1.5Km 小学3年男子の部

- ・第3位 記録6分7秒 3年児童

○第41回北松柔道選手権大会

- ・準優勝 4年児童

※学校ホームページ

教育活動紹介

「今日の春日っ子」



○2月の行事予定 ※コロナ感染状況により変更する場合があります。

1	水	少年の日、委員会活動、	15	水	4～6年5時間授業
2	木		16	木	授業参観・懇談会1・2年、あさひ、卒業記念タイムカプセル埋設式6年
3	金		17	金	授業参観・懇談会4・6年
4	土		18	土	
5	日		19	日	家庭の日、食育の日、徳育の日
6	月		20	月	
7	火		21	火	朝のえがお隊(PTA)
8	水	クラブ活動	22	水	4～6年5時間授業
9	木		23	木	天皇誕生日
10	金		24	金	
11	土	建国記念の日	25	土	
12	日		26	日	
13	月		27	月	体重測定の週
14	火	授業参観・懇談会3・5年	28	火	

★子ども県展巡回展2/1(水)～5(日)